

平成22年度 第10回河川整備委員会

大阪府内河川に関する地震への備えについて

平成23年3月15日(火)

大阪府都市整備部河川室

① 大阪府の津波防ぎよ施設

<考え方>

- ① 東南海地震及び南海地震が2連発で発生した場合を想定
→ 東海地震を含めた3連発でもほぼ同様
- ② 震源は、津波高さが最大及び津波到達時間が最短となる場所を想定

検討項目	大阪市内(大阪港)エリア	大和川以南(堺市)エリア	大和川以南(岬町)エリア
想定される津波の波高	最大2.9m (木津川水門下流)	最大2.6m (石津川)	最大1.4m (岬町)
想定津波高さ(満潮時)	OP+5.0m	OP+4.7m	OP+3.5m
防潮施設の高さ	(水門上流) OP+5.0m (水門下流) OP+6.6m	OP+5.5m	OP+6.0m

<進捗状況>

防潮施設の高さ確保については、約99% (未整備区間0.4km)

② 大阪府の耐震対策の状況

<考え方>

【直下型地震対策（低地対策）】（震度7程度）

- ・地震で防潮施設が被災し、日々の干満で浸水被害が発生することを防ぐ。

【海溝型地震対策（津波対策）】（震度5強から6弱程度）

- ・地震で防潮施設が被災し、直後に来襲する津波で浸水被害が発生することを防ぐ。

<進捗状況>

エリア	対策延長	未実施区間	整備率
大阪市内エリア	約 49km	約 7km	約85%
大和川以南エリア	約 17km	約 8km	約55%
合計	約 66km	約 15km	約78%

※ 津波ハザードマップの整備率は、100%（9市3町）

③ 今後の大阪府の対応

- (1) 「地震が発生した際には、しっかりした建物など高いところに逃げる」など津波高潮ステーションや各種イベントを通じた府民への啓発。
- (2) 東北地方太平洋沖地震での想定と実績の分析
- (3) 水防配備体制の確認